

■学会発表

部 署	内科（腎臓・透析）
発 表 者	足立 陽子
共同研究者名	西尾 晃・門 浩志・亀崎 通嗣
演 題	当院における維持透析に対するクエン酸第二鉄水和物（リオナ）の使用経験
学会・研究会名	第 60 回 日本透析医学会学術集会総会
開 催 日	2015. 6. 26-28
開 催 地	横浜国際会議場 他
発 表 者	中村 公一【臨床研修医】
共同研究者名	足立 陽子・俊野 尚彦・亀崎 通嗣・門 浩志
演 題	弓部大動脈瘤が原因と考えられる静脈高血圧症の一例
学会・研究会名	第 60 回 日本透析医学会学術集会総会
開 催 日	2015. 6. 26-28
開 催 地	横浜国際会議場 他
発 表 者	俊野 尚彦
共同研究者名	足立 陽子
演 題	塩酸バラシクロビルによる急性腎不全、脳症を来たし血液透析を施行した一例
学会・研究会名	第 60 回 日本透析医学会学術集会総会
開 催 日	2015. 6. 26-28
開 催 地	横浜国際会議場 他
発 表 者	渡邊 乃梨子
共同研究者名	草場 哲郎・石田 良・玉垣 圭一
演 題	インピーダンス型心拍出量計がドライウェイトの設定に有用であった血液透析の一例（口演）
学会・研究会名	第 60 回 日本透析医学会学術集会総会
開 催 日	2015. 6. 26-28
開 催 地	横浜国際会議場 他
発 表 者	太田 矩義
共同研究者名	伊藤 泉・山下 紀行・藤井 敦子・斎藤 友充子・堀田 俊介・平山 きふ・竹内 一郎・中ノ内 恒如・三神 一哉
演 題	C 型肝炎による肝硬変を合併した末期腎不全の一例に対して腹膜透析を導入した一例
学会・研究会名	第 60 回 日本透析医学会学術集会総会
開 催 日	2015. 6. 26-28
開 催 地	横浜国際会議場 他
発 表 者	渡邊 乃梨子
共同研究者名	足立 陽子・太田 矩義
演 題	アミロイド染色陰性のアミロイドーシス合併多発性骨髄腫に対して末梢血幹細胞移植を施行し蛋白尿が改善した一例
学会・研究会名	第 19 回 兵庫県腎疾患治療懇話会
開 催 日	2015. 7. 3
開 催 地	ANA クラウンプラザホテル神戸

■学会発表

発 表 者	太田 矩義
共同研究者名	足立 陽子・渡邊 乃梨子
演 題	若年女性に発症した IgA 腎症によるネフローゼ症候群
学会・研究会名	第 143 回 関西腎疾患カンファレンス
開 催 日	2015. 7. 21
開 催 地	北野病院

発 表 者	田谷 俊彦 【臨床研修医】
共同研究者名	足立 陽子・太田 矩義・渡邊 乃梨子
演 題	全身麻酔下でのデブリドマンにより軽快し得たカルシフィラキシスの 1 例
学会・研究会名	第 209 回 内科学会 近畿地方会
開 催 日	2015. 9. 12
開 催 地	大阪国際交流センター

発 表 者	渡邊 乃梨子
共同研究者名	足立 陽子・太田 矩義・西尾 晃
演 題	アミロイド染色陰性のアミロイドーシス合併多発性骨髄腫に対して末梢血幹細胞移植を施行し蛋白尿が改善した一例
学会・研究会名	第 45 回 日本腎臓学会 西部学術大会
開 催 日	2015. 10. 23
開 催 地	金沢歌劇座

発 表 者	田谷 俊彦 【臨床研修医】
共同研究者名	足立 陽子・太田 矩義・渡邊 乃梨子
演 題	全身麻酔下でのデブリドマンにより軽快し得たカルシフィラキシスの 1 例
学会・研究会名	第 27 回 兵庫県透析研究会
開 催 日	2015. 10. 4
開 催 地	神戸国際会議場

発 表 者	松澤 惇 【臨床研修医】
共同研究者名	足立 陽子・渡邊 乃梨子
演 題	臨床所見上合致しないが光顕上 M P G N を疑われた症例
学会・研究会名	第 145 回 関西腎疾患カンファレンス
開 催 日	2015. 11. 24
開 催 地	山西福祉記念会館

発 表 者	俊野 尚彦
共同研究者名	足立 陽子・太田 矩義
演 題	Wolf-Hirschhorn（ウォルフ・ヒルシュホーン）症候群に腹膜透析を導入した一例
学会・研究会名	第 21 回 日本腹膜透析学会総会
開 催 日	2015. 11. 28-29
開 催 地	仙台国際センター

■学会発表

発 表 者	足立 陽子（座長）
共同研究者名	
演 題	
学会・研究会名	第 21 回 日本腹膜透析学会総会
開 催 日	2015. 11. 28-29
開 催 地	仙台国際センター

発 表 者	足立 陽子
共同研究者名	太田 矩義・渡邊 乃梨子
演 題	A S Vを導入し治療アドヒアランスの改善を見た腹膜透析患者の一症例
学会・研究会名	第 21 回 日本腹膜透析学会総会
開 催 日	2015. 11. 28-29
開 催 地	仙台国際センター

発 表 者	渡邊 乃梨子
共同研究者名	足立 陽子・太田 矩義
演 題	卵管采巻絡による腹膜透析カテーテル閉塞を発症 5 か月後に腹膜鏡下整復固定術で解除しえた一例
学会・研究会名	第 21 回 日本腹膜透析学会総会
開 催 日	2015. 11. 28-29
開 催 地	仙台国際センター

発 表 者	石本 千恵子
共同研究者名	足立 陽子・松田 和子・砂泊 悦子・辰井 はるか・沼田 健一・森田 恭子・國重 麻衣子
演 題	腹膜透析患者の夜間および休日緊急時対応への取り組み ～実態調査からみえてきたこと～
学会・研究会名	第 21 回 日本腹膜透析学会総会
開 催 日	2015. 11. 28-29
開 催 地	仙台国際センター

発 表 者	渡邊 乃梨子
共同研究者名	足立 陽子・太田 矩義・西尾 晃
演 題	多発性骨髄腫の治療中に急速進行性糸球体腎炎を呈した一例
学会・研究会名	第 61 回 兵庫県腎臓研究会
開 催 日	2016. 3. 5
開 催 地	神戸ポートピアホテル

■学会発表

部 署	内科（血液・免疫）
発 表 者	江頭 佳子・足立 陽子（座長）
共同研究者名	足立 陽子
演 題	RevMate 運用のチームアプローチ ～簡単に始められる電子カルテの活用法～
学会・研究会名	Hyogo Hematology Team Approach Symposium
開 催 日	2015. 4. 25
開 催 地	三宮研修センター
発 表 者	草野 淳【臨床研修医】
共同研究者名	足立 陽子・田谷 俊彦・轟 純平・西尾 晃
演 題	再発性慢性リンパ性白血病に対してオフアツムマブを投与した3症例
学会・研究会名	第103回 近畿血液学地方会
開 催 日	2015. 6. 20
開 催 地	京都烏丸コンベンションホール
発 表 者	足立 陽子
共同研究者名	
演 題	鉄代謝についての概念変化 ～CKD に対する腎性貧血治療を巡って～
学会・研究会名	第32回 兵庫県中部血液研究会
開 催 日	2015. 9. 5
開 催 地	伊丹シティホテル
発 表 者	Aya Nakaya
共同研究者名	Yoko Adachi, et. Al
演 題	Dose early treatment improve the outcome of patients with transplant-ineligible symptomatic myeloma?
学会・研究会名	第77回 日本血液学会学術集会総会
開 催 日	2015. 10. 16-18
開 催 地	石川県立音楽堂 他
発 表 者	Takae Kohara
共同研究者名	Yoko Adachi, et. Al
演 題	Retrospective analysis of MM patients with dual refractory to bortezomib and IMiDs in KMF registry
学会・研究会名	第77回 日本血液学会学術集会総会
開 催 日	2015. 10. 16-18
開 催 地	石川県立音楽堂 他
発 表 者	金子 仁臣
共同研究者名	足立 陽子 他
演 題	症候性骨髄腫 969 例における腎障害の後方視的解析（関西骨髄腫フォーラム）
学会・研究会名	第77回 日本血液学会学術集会総会
開 催 日	2015. 10. 16-18
開 催 地	石川県立音楽堂 他

■学会発表

発 表 者	Takao Kashiwagi
共同研究者名	Yoko Adachi・Yoshio Katayama・Toshimitsu Matusi, et. al
演 題	Pharmacokinetics of low-dose lenalidomide (LEN) in elderly multiple myeloma
学会・研究会名	第 77 回 日本血液学会学術集会総会
開 催 日	2015. 10. 16-18
開 催 地	石川県立音楽堂 他

発 表 者	中村 公一 【臨床研修医】
共同研究者名	足立 陽子・轟 純平・西尾 晃
演 題	経過中に舌下神経麻痺にて憎悪が認められた移植非適応多発骨髄腫の一症例
学会・研究会名	第 104 回 近畿血液学地方会
開 催 日	2015. 11. 7
開 催 地	京都テルサ

発 表 者	佃 綾乃・足立 陽子（座長）【臨床研修医】
共同研究者名	足立 陽子
演 題	ダサチニブ投与により胸水が生じたが治療継続しえた一例
学会・研究会名	第二回椿の会 兵庫県血液内科女性医師の会
開 催 日	2016. 2. 26
開 催 地	LA SUITE hotel

発 表 者	楠瀬 正哉 【臨床研修医】
共同研究者名	足立 陽子・山田 紀子・西尾 晃
演 題	免疫抑制療法に対し、血液検査の改善を認めなかった後天性血友病の一例
学会・研究会名	第 56 回 神戸血液病研究会
開 催 日	2016. 2. 27
開 催 地	三宮研修センター

発 表 者	足立 陽子
共同研究者名	
演 題	iMIS 使用中に自己免疫異常が起こった症例
学会・研究会名	第 19 回 大文字クラブ
開 催 日	2016. 3. 12
開 催 地	京都市 ベーコンラボ京都駅 4 階

発 表 者	佃 綾乃 【臨床研修医】
共同研究者名	足立 陽子
演 題	再生不良性貧血に対する ATG-Cy a 治療後に発症した NHL-DLBCL の 1 例
学会・研究会名	第 33 回 兵庫県中部血液研究会
開 催 日	2016. 3. 26
開 催 地	伊丹シティホテル

■学会発表

部 署	内科（糖尿病・代謝）
発 表 者	永井 利樹【臨床研修医】
共同研究者名	藤井 光広・古志谷 達也・榊田 昌隆・中野 圭明・婦木 秀一・野崎 高史・中嶋 寿樹
演 題	ステロイド治療により耐糖能異常の改善を認めたびまん型自己免疫性膵炎の1例
学会・研究会名	第208回 日本内科学会近畿地方会
開 催 日	2015.6.27
開 催 地	京都テレサ

発 表 者	草野 淳【臨床研修医】
共同研究者名	藤井 光広・野崎 高史・中嶋 寿樹
演 題	老年で発症した劇症1型糖尿病の1例
学会・研究会名	第210回 日本内科学会近畿地方会
開 催 日	2015.11.28
開 催 地	神戸国際会議場

発 表 者	草野 淳【臨床研修医】
共同研究者名	藤井 光広・古志谷 達也・榊田 昌隆・中野 圭明・婦木 秀一・野崎 高史・中嶋 寿樹
演 題	EUS-FNAによって確定診断し得たインスリノーマの1例
学会・研究会名	第104回 日本消化器病学会近畿支部会例会
開 催 日	2016.2.6
開 催 地	大阪国際交流センター

部 署	循環器内科
発 表 者	馬崎 徹
演 題	Two-Year Clinical Outcome of Patients Treated with NOBORI Biolimus-Eluting Stent and XIENCE/PROMUS Everolimus-Eluting Stent in the Right Coronary Artery Ostium.
学会・研究会名	第79回 日本循環器学会学術集会
開 催 日	2015.4.25
開 催 地	大阪

発 表 者	佃 綾乃【臨床研修医】
共同研究者名	田中 哲也・下田 義晃・馬崎 徹・山本 和人・近藤 盛彦・大友 敏行
演 題	直腸癌と冠動脈狭窄を合併し、その治療方針の決定にガイドラインが有用であった1例
学会・研究会名	第209回 日本内科学会近畿地方会
開 催 日	2015.9.12
開 催 地	大阪

学会発表

部 署	消化器内科
発 表 者	Koshitani T
共同研究者名	Masuda M・Fujiwara K・Nakano K・Fuki S
演 題	Prophylaxis of post-ERCP pancreatitis using temporary pancreatic stent vs. rectal nonsteroidal anti-inflammatory drug: a randomized controlled trial
学会・研究会名	DDW 2015
開 催 日	2015. 5. 18
開 催 地	Washington D.C. (USA)

発 表 者	榎田 昌隆
共同研究者名	古志谷 達也・藤原 晃・中野 圭明・婦木 秀一・曾我 耕次・中川 登
演 題	悪性大腸狭窄に対するステント治療：当院での成績
学会・研究会名	第 89 回 日本消化器内視鏡学会総会
開 催 日	2015. 5. 30
開 催 地	名古屋国際会議場

発 表 者	婦木 秀一
共同研究者名	古志谷 達也・藤原 晃・榎田 昌隆・中野 圭明・伊藤 義人
演 題	萎縮性胃炎患者を対象とした EAC3 剤併用療法による <i>Helicobacter pylori</i> 一次除菌療法の有効性の検討
学会・研究会名	第 89 回 日本消化器内視鏡学会総会
開 催 日	2015. 5. 30
開 催 地	名古屋国際会議場

発 表 者	榎田 昌隆
共同研究者名	藤原 晃・中野 圭明・婦木 秀一・古志谷 達也
演 題	術後再発による閉塞性黄疸に対してダブルバルーン内視鏡を用いた胆管 multi-stenting を施行した 1 症例
学会・研究会名	日本消化器内視鏡学会近畿支部第 94 回支部例会
開 催 日	2015. 6. 20
開 催 地	大阪国際交流センター

発 表 者	永井 利樹 【臨床研修医】
共同研究者名	古志谷 達也・榎田 昌隆・中野 圭明・婦木 秀一・野崎 高史・中島 寿樹・藤井 光広
演 題	ステロイド治療により耐糖能異常の改善を認めたびまん型自己免疫性膵炎の 1 例
学会・研究会名	日本内科学会近畿支部第 208 回近畿地方会
開 催 日	2015. 6. 27
開 催 地	京都テルサ

発 表 者	草野 淳 【臨床研修医】
共同研究者名	婦木 秀一・榎田 昌隆・中野 圭明・古志谷 達也
演 題	高齢女性にみられた散発性急性 E 型肝炎の 2 症例
学会・研究会名	日本消化器病学会近畿支部第 103 回例会
開 催 日	2015. 9. 26
開 催 地	大阪国際交流センター

■学会発表

発 表 者	古志谷 達也
共同研究者名	梶田 昌隆・藤原 晃・中野 圭明・婦木 秀一
演 題	ERCP 時の先発カニューラに関する検討：通常カニューラ vs パピロトーム
学会・研究会名	JDDW 2015
開 催 日	2015. 10. 10
開 催 地	新高輪プリンスホテル

発 表 者	古志谷 達也
共同研究者名	梶田 昌隆・藤原 晃・中野 圭明・婦木 秀一・伊藤 義人
演 題	ERCP 後膵炎の発症予防に関する検討：膵管ステント留置、NSAID 投与、及び両者併用の効果について
学会・研究会名	JDDW 2015
開 催 日	2015. 10. 10
開 催 地	新高輪プリンスホテル

発 表 者	梶田 昌隆
共同研究者名	桂 明子・中野 圭明・婦木 秀一・古志谷 達也
演 題	肝門部悪性胆管狭窄に対して内視鏡的胆管マルチステンティングを施行した 2 症例
学会・研究会名	第 48 回 兵庫県内視鏡治療談話会
開 催 日	2015. 11. 4
開 催 地	クラウンパレス神戸

発 表 者	草野 淳【臨床研修医】
共同研究者名	古志谷 達也・梶田 昌隆・中野 圭明・婦木 秀一・野崎 高史・中島 寿樹・藤井 光広
演 題	EUS-FNA によって確定診断し得た インスリノーマの 1 例
学会・研究会名	日本消化器病学会近畿支部第 104 回例会
開 催 日	2016. 2. 6
開 催 地	大阪国際交流センター

部 署	呼吸器内科
発 表 者	後藤 有基【臨床研修医】
共同研究者名	大杉 修二・荻野 浩嗣・池上 直矢
演 題	侵襲性肺炎球菌感染症の 2 例
学会・研究会名	第 86 回 日本呼吸器学会・第 116 回 日本結核病学会 近畿地方会
開 催 日	2015. 12. 19
開 催 地	メルパルク京都

■学会発表

部 署		神 経 内 科
発 表 者	原 敦	
共同研究者名	小別所 博・三宅 俊彦・松本 圭吾・清家 尚彦・田中 英智・柿田 明美	
演 題	歩行障害と認知機能低下が重急性に進行し、同心円状の造影病変を呈した炎症性脱髄性疾患の75歳女性例	
学会・研究会名	第102回 日本神経学会近畿地方会	
開 催 日	2015.7.4	
開 催 地		
発 表 者	原 敦	
共同研究者名	小別所 博・柴田 敏章	
演 題	髄液水痘・带状疱疹ウイルス(VZV)-DNAの検出で早期診断し得たVZVによる右IX・X脳神経障害の一例	
学会・研究会名	第104回 日本神経学会近畿地方会	
開 催 日	2016.3.6	
開 催 地		
発 表 者	原 敦	
共同研究者名	小別所 博	
演 題	ウイルス感染に伴う多発脳神経障害の4例の臨床的検討	
学会・研究会名	第57回 日本神経学会学術大会	
開 催 日	2016.5.20	
開 催 地		
部 署		外 科
発 表 者	高 利守	
共同研究者名	加藤 俊治・平島 相治・曾我 耕次・西村 幸寿・西尾 実・小黒 厚・中川 登	
演 題	劇症型アメーバ性大腸炎の一例	
学会・研究会名	第8回 京都消化器外科臨床検討会	
開 催 日	2015.4.11	
開 催 地	京都	
発 表 者	中川 登	
共同研究者名	西村 幸寿・曾我 耕次・西尾 実・高 利守・小黒 厚・岡野 晋治*・山根 哲郎*・安川 林良* (※松下記念病院外科)	
演 題	胃リンパ流からみた胃下部進行胃癌における臍頭十二指腸切除の意義 ―メス(手術)の限界を求めて―	
学会・研究会名	第115回 日本外科学会	
開 催 日	2015.4.16	
開 催 地	名古屋	
発 表 者	中川 登	
共同研究者名	近藤 裕・西村 幸寿・西尾 実・曾我 耕次・高 利守・小黒 厚	
演 題	腹腔動脈浸潤胃癌に対し、Appleby手術で術後4年3カ月無再発生存の1例	
学会・研究会名	第197回 近畿外科学会	
開 催 日	2015.5.9	
開 催 地	京都	

■学会発表

発 表 者	Nakagawa Noboru
共同研究者名	Soga Kouji・Nishio Minoru・Koh Toshimori・Oguro Atsushi・Okano Shinji*・YamaneTetsuro* ・Yasukawa Motoyoshi* （※Department of Surgery, Matsushita Memorial Hospital）
演 題	Is a size of lymph node efficient for detecting lymph node metastasis of gastric carcinoma?
学会・研究会名	11th IGCC
開 催 日	2015. 6. 5
開 催 地	Sao Paulo Brazil

発 表 者	中川 登
共同研究者名	西村 幸寿・曾我 耕次・西尾 実・高 利守・小黒 厚・岡野 晋治*・山根 哲郎*・安川 林良* （※松下記念病院外科）
演 題	微粒子活性炭による胃リンパ流検索結果に基づく胃癌リンパ節郭清範囲の pitfall
学会・研究会名	第 70 回 日本消化器外科学会
開 催 日	2015. 7. 15
開 催 地	浜松

発 表 者	曾我 耕次
共同研究者名	西村 幸寿・西尾 実・高 利守・小黒 厚・中川 登
演 題	当院における大腸癌イレウスに対するステントを用いた治療戦略
学会・研究会名	第 70 回 日本消化器外科学会
開 催 日	2015. 7. 15
開 催 地	浜松

発 表 者	加藤 俊治
共同研究者名	曾我 耕次・平島 相治・西尾 実・高 利守・小黒 厚・中川 登
演 題	腹腔鏡下低位前方切除術
学会・研究会名	第 1 回 兵庫 LAC ビデオクリニック ——ノーカットビデオによるディスカッション——
開 催 日	2015. 8. 7
開 催 地	神戸

発 表 者	曾我 耕次
共同研究者名	加藤 俊治・平島 相治・西尾 実・高 利守・小黒 厚・中川 登
演 題	乳癌腹膜播種の横行結腸閉塞に対して大腸ステント挿入を施行した一例
学会・研究会名	第 4 回 JDDW 2015 大腸ステント研究会
開 催 日	2015. 10. 10
開 催 地	

発 表 者	中川 登
共同研究者名	加藤 俊治・平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・高 利守・小黒 厚・岡野 晋治*・山根 哲郎*・安川 林良* （※松下記念病院外科）
演 題	微粒子活性炭 CH40 による胃リンパ流と術後合併症からみた腹部大動脈周囲リンパ節廓清の要点と盲点 8 か条
学会・研究会名	第 45 回 胃外科・術後障害研究会
開 催 日	2015. 11. 6
開 催 地	名古屋

■学会発表

発 表 者	曾我 耕次
共同研究者名	加藤 俊治・平島 相治・西尾 実・高 利守・小黒 厚・中川 登
演 題	大腸癌イレウスに対する治療方針のポイントとピットフォール
学会・研究会名	第 77 回 日本臨床外科学会
開 催 日	2015. 11. 27
開 催 地	福岡

発 表 者	高 利守
共同研究者名	加藤 俊治・平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・小黒 厚・中川 登
演 題	術前にダブルバルーン小腸内視鏡で診断し腹腔鏡下手術で切除した後、化学療法を行わず3年以上の無再発が得られている小腸骨髄性肉腫の一例
学会・研究会名	第 77 回 日本臨床外科学会
開 催 日	2015. 11. 26
開 催 地	福岡

発 表 者	西尾 実
共同研究者名	加藤 俊治・平島 相治・曾我 耕次・高 利守・小黒 厚・中川 登
演 題	肝鎌状間膜裂孔ヘルニアの一例
学会・研究会名	第 77 回 日本臨床外科学会
開 催 日	2015. 11. 27
開 催 地	福岡

発 表 者	加藤 俊治
共同研究者名	平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・高 利守・小黒 厚・中川 登
演 題	穿孔性中腸軸捻転を合併した成人腸回転異常症の一例
学会・研究会名	第 198 回 近畿外科学会
開 催 日	2015. 12. 5
開 催 地	大阪

発 表 者	曾我 耕次
共同研究者名	加藤 俊治・平島 相治・西尾 実・高 利守・小黒 厚・中川 登
演 題	当院における腹腔鏡下腹壁癒痕ヘルニア修復術の手技と成績
学会・研究会名	第 28 回 日本内視鏡外科学会総会
開 催 日	2015. 12. 10
開 催 地	福岡

発 表 者	高 利守
共同研究者名	加藤 俊治・平島 相治・曾我 耕次・西尾 実・小黒 厚・中川 登
演 題	卵管采巻絡による腹膜透析（CAPD）カテーテル閉塞に対し腹腔鏡を用いて修復した一例
学会・研究会名	第 28 回 日本内視鏡外科学会総会
開 催 日	2015. 12. 10
開 催 地	福岡

学会発表

発表者	平島 相治
共同研究者名	加藤 俊治・曾我 耕次・西尾 実・高 利守・小黒 厚・中川 登
演 題	高度炎症を伴う胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢亜全摘の有用性
学会・研究会名	第 28 回 日本内視鏡外科学会総会
開 催 日	2015. 12. 10
開 催 地	福岡

発表者	高 利守
共同研究者名	中川 登・西村 幸寿・曾我 耕次・西尾 実・小黒 厚
演 題	高齢の食道癌術後再建胃管癌症例に対し血管温存幽門側胃管切除術を行った一例
学会・研究会名	第 88 回 日本胃癌学会
開 催 日	2016. 3. 5
開 催 地	別府

発表者	曾我 耕次
共同研究者名	高 利守・中川 登・西村 幸寿・西尾 実・小黒 厚
演 題	当院における高齢者胃全摘症例の検討
学会・研究会名	第 88 回 日本胃癌学会
開 催 日	2016. 3. 5
開 催 地	別府

発表者	中川 登
共同研究者名	西村 幸寿・曾我 耕次・西尾 実・高 利守・小黒 厚・岡野 晋治*・山根 哲郎*・安川 林良* (※松下記念病院外科)
演 題	残胃癌のリンパ節転移状況とリンパ流からみたリンパ節郭清範囲の問題点
学会・研究会名	第 88 回 日本胃癌学会
開 催 日	2016. 3. 5
開 催 地	別府

部 署 整形外科

発表者	久保田 迅是
共同研究者名	(ポスター発表)
演 題	手指の関節内骨折に対してアラタ PIP ウイング創外固定器を用いた治療経験
学会・研究会名	第 29 回 日本外傷学会
開 催 日	2015. 6. 11
開 催 地	札幌

発表者	田谷 俊彦 【臨床研修医】
共同研究者名	柴谷 匡彦・久保田 迅是・大東 昌史・斎木 大器
演 題	脆弱性骨折に対する免荷治療中に健側にも骨折を生じた 1 例
学会・研究会名	第 125 回 中部日本整形外科・災害外科学術総会
開 催 日	2015. 10. 3
開 催 地	愛知県産業労働センター

■学会発表

部 署	泌 尿 器 科
発 表 者	玉田 博
共同研究者名	源吉 顕治・山端 康之
演 題	肺転移のない胸膜播種のみを認めた転移性腎癌の一例
学会・研究会名	第 65 回 日本泌尿器科学会中部総会
開 催 日	2015. 10. 24
開 催 地	長良川

部 署	耳鼻いんこう科
発 表 者	二之湯 弦
共同研究者名	竹中 まり・柴田 敏章・四ノ宮 隆
演 題	内視鏡下アブミ骨手術の 1 例
学会・研究会名	第 181 回 日耳鼻兵庫県地方部会
開 催 日	2015. 12. 20
開 催 地	西宮

発 表 者	竹中 まり
共同研究者名	柴田 敏章・二之湯 弦・四ノ宮 隆
演 題	内視鏡下耳科手術（TEES）にて加療を行った外リンパ瘻の 2 症例
学会・研究会名	第 182 回 日耳鼻兵庫県地方部会
開 催 日	2016. 3. 27
開 催 地	西宮

部 署	脳神経外科
発 表 者	松本 圭吾
共同研究者名	橋村 直樹・李 哲・松田 和也
演 題	地域の高齢化が急性期病院の救急・脳卒中診療に及ぼす影響
学会・研究会名	第 20 回 日本脳神経救急学会
開 催 日	2015. 1. 30-31
開 催 地	東京

発 表 者	李 哲
共同研究者名	橋村 直樹・松田 和也・松本 圭吾
演 題	急性期の血管内治療を要した症候性頭蓋内血管高度狭窄例の検討
学会・研究会名	第 20 回 日本脳神経救急学会
開 催 日	2015. 1. 30-31
開 催 地	東京

発 表 者	李 哲
共同研究者名	橋村 直樹・松田 和也・松本 圭吾
演 題	症候性頭蓋内動脈狭窄に対する血管内治療の検討
学会・研究会名	第 40 回 日本脳卒中学会総会
開 催 日	2015. 3. 26-29
開 催 地	広島

■学会発表

発 表 者	草野 淳【臨床研修医】
共同研究者名	松本 圭吾・橋村 直樹・李 喆・松田 和也
演 題	器質化硬膜下血腫の1例
学会・研究会名	第69回 日本脳神経外科学会近畿支部学術集会
開 催 日	2015. 4. 18
開 催 地	大阪

発 表 者	松本 圭吾
共同研究者名	橋村 直樹・李 哲・松田 和也
演 題	地域の高齢化が急性期病院の救急・脳卒中診療に及ぼす影響
学会・研究会名	第18回 日本臨床脳神経外科学会
開 催 日	2015. 7. 18
開 催 地	神戸

発 表 者	竹田 祐子
共同研究者名	長濱 雅子・岡 英里佳・岩下 英華・間瀬場 有輝・松本 圭吾
演 題	脳卒中データファイルを用いた指導効果の検討 ―脳卒中の再発予防に向けて―
学会・研究会名	第18回 日本臨床脳神経外科学会
開 催 日	2015. 7. 18
開 催 地	神戸

発 表 者	永井 利樹【臨床研修医】
共同研究者名	松本 圭吾・松田 和也・橋村 直樹・李 哲・高瀬 直人
演 題	Gliomaに対する放射線化学療法後に発生したosteosarcomaの1例
学会・研究会名	第70回 日本脳神経外科学会近畿支部学術集会
開 催 日	2015. 9. 5
開 催 地	大阪

部 署	眼 科
発 表 者	細谷 比左志
共同研究者名	
演 題	19年間経過を追えたHaab's Striaeを伴う早発型発達緑内障の1例
学会・研究会名	角膜カンファランス 2016 第40回日本角膜学会総会・第32回日本角膜移植学会
開 催 日	2016. 2. 18-20
開 催 地	軽井沢

部 署	麻 酔 科
発 表 者	藤本 俊一
共同研究者名	平田 誉・川嶋 浩平
演 題	先天性無痛無汗症に対するデクスメデトミジンを用いた麻酔経験
学会・研究会名	日本麻酔科学会 関西支部学術集会
開 催 日	2015. 9. 5
開 催 地	大阪

■学会発表

部 署	外 来
発 表 者	荻野 俊美
共同研究者名	永瀬 紗奈衣
演 題	継続的な透析予防指導の効果 一患者が適切な食事療法を体得した1例
学会・研究会名	第20回 日本糖尿病教育・看護学会
開 催 日	2015.9.21
開 催 地	高松市

発 表 者	荻野 俊美
共同研究者名	永瀬 紗奈衣
演 題	継続的な透析予防指導の効果 一患者が適切な食事療法を体得した1例
学会・研究会名	第1回 JCHO 学会
開 催 日	2016.2.26-27
開 催 地	東京

部 署	薬 剤 部
発 表 者	早草 直子
共同研究者名	富永 日輪
演 題	抗がん剤調製支援システムの導入とその成果
学会・研究会名	第53回 日本癌治療学会
開 催 日	2015.10.29-31
開 催 地	京都

発 表 者	長谷川 真美
共同研究者名	新屋 和馬・佐々木 秀美
演 題	かりつけ薬局に対する患者および保険薬局の意識調査
学会・研究会名	第1回 JCHO 地域医療総合医学会
開 催 日	2016.2.26-27
開 催 地	品川

部 署	放射線科 診療部
発 表 者	山端 康之
共同研究者名	久保田 浩史・岡本 将裕・中山 雅夫・宮本 裕二・三宅 敏彦
演 題	胸膜播種を契機に発見された腎細胞癌の一例
学会・研究会名	第310回 公益社団法人日本医学放射線学会関西地方会
開 催 日	2015.6.13
開 催 地	大阪

発 表 者	岡本 将裕
共同研究者名	久保田 浩史・中山 雅夫
演 題	臍頭十二指腸切除術後の膵液瘻に対するドレナージの一例
学会・研究会名	第5回 洛中洛外 IVR 勉強会
開 催 日	2015.7.14
開 催 地	京都

■学会発表

発 表 者	岡本 将裕
共同研究者名	田村 陽子・千森 真理・小黒 厚
演 題	当施設での脳ドック症例の検討
学会・研究会名	第56回 日本人間ドック学会学術大会
開 催 日	2015. 7. 30-31
開 催 地	横浜

発 表 者	久保田 浩史
共同研究者名	宮本 裕二・中山 雅夫・岡本 将裕
演 題	急激な経過をたどったアメーバ性大腸炎の一例
学会・研究会名	第311回 公益社団法人日本医学放射線学会関西地方会
開 催 日	2015. 10. 24
開 催 地	大阪

部 署 リハビリテーション科診療部

発 表 者	三本 坪大
共同研究者名	小菌 幹
演 題	関節リウマチ患者への運動療法およびカスタムインソールによる治療効果の検討
学会・研究会名	第50回 日本理学療法学術大会
開 催 日	2015. 6. 5-7
開 催 地	東京国際フォーラム

発 表 者	松坂 基博
共同研究者名	横山 優子・吉田 卓矢
演 題	中枢性疼痛による歩行障害に対し、脊髄電気刺激療法と理学療法により改善を認めた1例
学会・研究会名	第50回 日本理学療法学術大会
開 催 日	2015. 6. 5-7
開 催 地	東京国際フォーラム

発 表 者	高畑 千里
共同研究者名	小林 尚太・柴谷 匡彦・大東 昌史・齋木 大器
演 題	荷重位での骨盤アライメントが股関節周囲筋活動に与える影響についての検討
学会・研究会名	第42回 日本股関節学会学術集会
開 催 日	2015. 10. 30-31
開 催 地	グランフロント大阪

部 署 感染対策室

発 表 者	大東 芳子
共同研究者名	橋爪 太郎・松本 圭吾・大友 敏行
演 題	感染対策に関する地域課題への取り組み ―相談事業の構築および研修会開催の報告―
学会・研究会名	日本医療マネジメント学会 第14回九州・山口連合大会
開 催 日	2015. 11. 20-21
開 催 地	熊本県人吉市 人吉市カルチャーパレス・人吉スポーツパレス

■学会発表

部 署 3 階 病 棟

発 表 者	井上 詩織
共同研究者名	永瀬 紗奈衣
演 題	インスリン療法の継続を支える退院支援
学会・研究会名	第 20 回 日本糖尿病学会
開 催 日	2015. 9. 21
開 催 地	高松市

発 表 者	井上 詩織
共同研究者名	永瀬 紗奈衣
演 題	インスリン療法の継続を支える退院支援
学会・研究会名	第 1 回 JCH0 学会
開 催 日	2016. 2. 26-27
開 催 地	東京

部 署 4 階西病棟

発 表 者	岡 英里佳
共同研究者名	竹田 祐子・長濱 雅子・岩下 英華・間瀬場 有輝・松本 圭吾
演 題	データファイルを用いた指導の効果の検討 - 脳卒中再発予防に向けて -
学会・研究会名	第 18 回日本臨床脳神経外科学会
開 催 日	2015. 7. 19
開 催 地	神戸

発 表 者	本間 春雪
共同研究者名	喜多 由賀里
演 題	脳卒中看護における急性期・回復期病院との顔の見える関係の構築 - 合同カンファレンスの効果 -
学会・研究会名	第 1 回 JCH0 学会
開 催 日	2016. 2. 26-27
開 催 地	東京

部 署 5 階東病棟

発 表 者	金田 司
共同研究者名	植野 里美・筒川 美智・福田 由起子・下野 富美代
演 題	副看護師長の立場から考える受け持ち看護師の役割とは - 退院後訪問から見てきたこと -
学会・研究会名	第 1 回 JCH0 学会
開 催 日	2016. 2. 26-27
開 催 地	東京

部 署 5 階西病棟

発 表 者	藤原 由布子
共同研究者名	阪本 いずみ・辰井 はるか・田中 愛里
演 題	血液疾患患者に対する転倒予防 - 血液内科病棟の転倒予防に対する看護の実態調査 -
学会・研究会名	第 1 回 JCH0 学会
開 催 日	2016. 2. 26-27
開 催 地	東京

■学会発表

部 署	人工透析室
発 表 者	石本 千恵子
共同研究者名	松田 和子・砂泊 悦子・辰井 はるか・沼田 健一・國重 麻衣子・足立 陽子
演 題	腹膜透析患者の夜間および休日緊急時対応への取り組み ～実態調査から見えてきたこと～
学会・研究会名	第 21 回日本腹膜透析医学会・学術集会・総会
開 催 日	2015. 11. 28-29
開 催 地	山形県仙台市

部 署	附属介護老人保健施設
発 表 者	井上 阿貴子
共同研究者名	石橋 昌代
演 題	個々の利用者が見えるケアを目指して ～機能別から受け持ち制ケアへ～
学会・研究会名	第 1 回 地域包括推進医学会
開 催 日	2016. 2. 26-27
開 催 地	JCHO 本部

発 表 者	藤田 聡美
共同研究者名	東尾 祐子・梅田 眞由美・清水 由美・石橋 昌代
演 題	不適切ケア防止への取り組み ～リフレクションを通して～
学会・研究会名	第 1 回 兵庫県介護老人保健施設大会
開 催 日	2016. 3. 4
開 催 地	ポートピアホテル（神戸）